

未来にはばたけ 希望の九小



9月



令和4年8月29日（月）

府中市立府中第九小学校

校長 生井 信太郎

いつもの夏休み、いつもの2学期

校長 生井信太郎

今年の夏は、行動制限こそ無かったものの、やはり感染対策を講じながら過ごすことになりました。それぞれのご家庭で工夫を凝らしながら過ごされたことと思います。そのような状況でしたが、よかったのは、昨年度は実施できなかった夏休み水泳学習を規模を縮小しながらではありましたが実施することができたことです。多くの子供たちが参加し、水に親しんだり一生懸命に泳いで技能を高めたりしていました。

また、昨年度は延期になり1泊2日でおこなった日光林間学校も、予定通り8月9日から11日までの2泊3日で実施することができました。奥日光の涼しさを味わいながら、東照宮や華嚴の滝などの名所を見学したり、源泉体験や日光彫りなどの体験活動を行ったりしました。6年生はよく協力し合い、3日間を楽しく過ごしました。

このような活動を通して思ったのは「いつもの夏休み」を久しぶりに取り戻しつつあるなあ、ということです。そしてそのありがたさを痛感した期間でもありました。ご家庭の、感染症対策をはじめとする様々なご協力のおかげです。ありがとうございました。

この夏はいくつかの研修会に参加することができました。やむを得ずリモートで行われたものもあれば、対面で行われたものもありました。リモートの良さもちろん十分に感じたのですが、改めて感じたのは、こと話し合う場面では、やはり対面がいいということです。話し合いは言葉を使って行われますが、意図を伝え合うにはそれ以外のものを直接交わすことがとても大事だ、ということを実感しました。表情（マスクで隠れていますがそれでも）、身振り手振り等の仕草、声のトーン、話す速度など非言語の要素はパソコンのモニター越しにはなかなか伝わりきりません。これらを直接感じる事が、互いに意見を交わし理解し合うには大変重要な要素であるということを確認しました。

学校でも、デジタルの良さ、アナログの良さを最大限活かしながら教育活動を進めていきたいと思いました。

2学期が始まりました。学校に、子供たちがいる。この事実だけで心が弾みます。2学期は行事が目白押しです。9月は5年生セカンドスクール。10月はふたば学級宿泊学習に運動会。11月は展覧会、ふたば学級連合学芸会。そのほかに社会科見学なども計画しています。子供たちがそれぞれの行事の目標に向かってのびのびと活動でき、保護者、地域の皆様にもその成果をご覧いただける、「いつもの2学期」にしたいものです。

今学期も保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をどうぞお願いいたします。